

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 2 週 ( 2026/1/5~1/11 ) 感染症発生動向調査速報値 ( 2026/1/14 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **368** 人、定点医療機関当たり **7.83** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

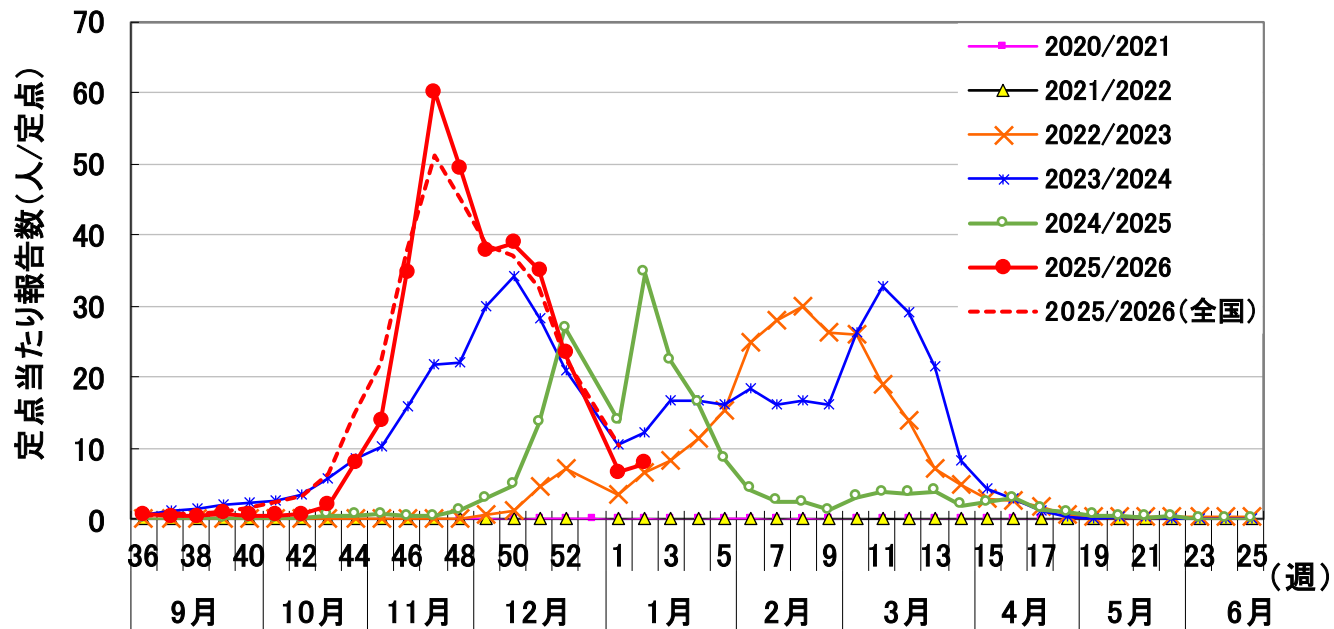
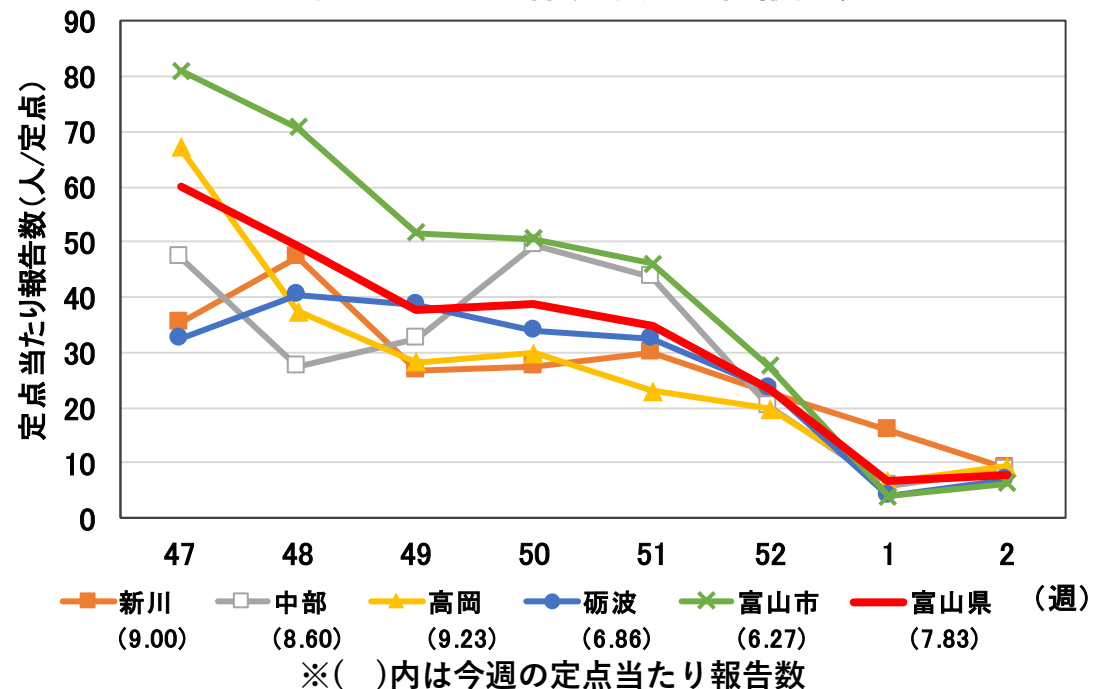
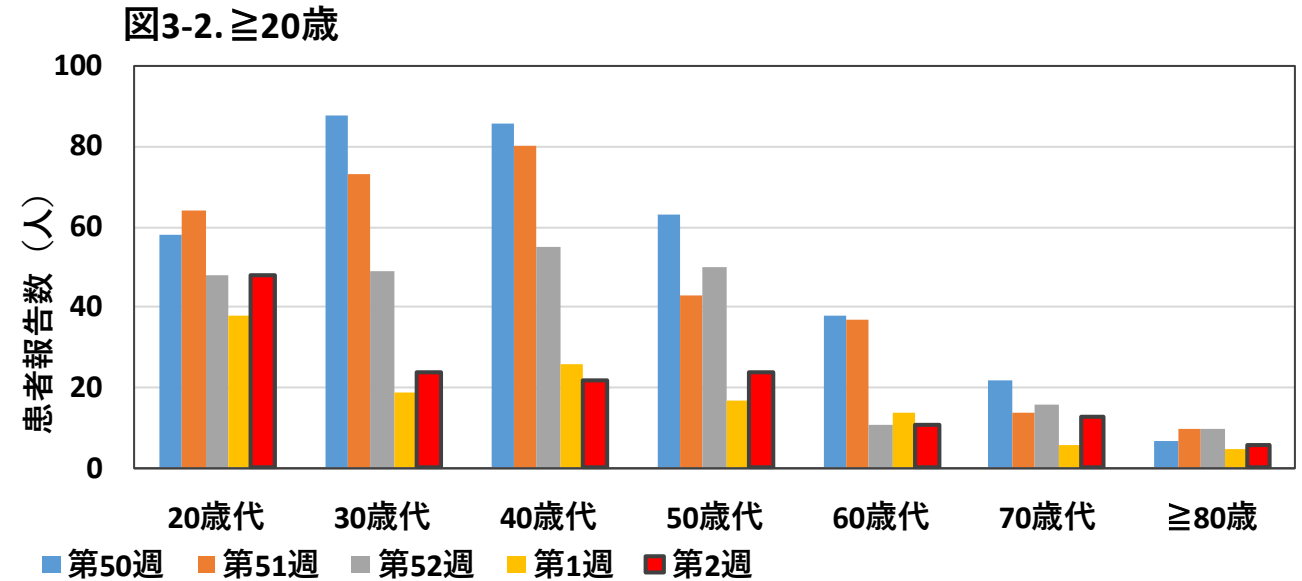
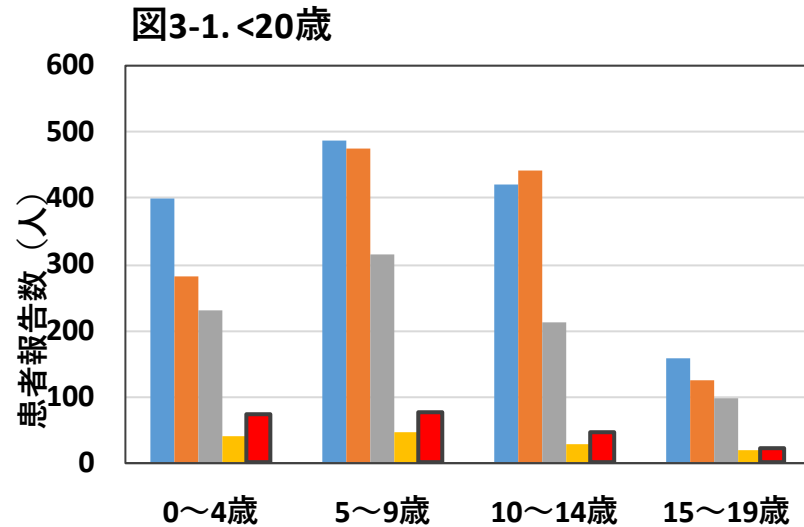


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数は今週7.83人/定点となり、先週 (6.64人/定点) から増加した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、新川管内で減少したが、その他の管内では先週から増加した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 40歳代、60歳代で先週から減少した一方、その他の全ての年代で先週から増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第1週)

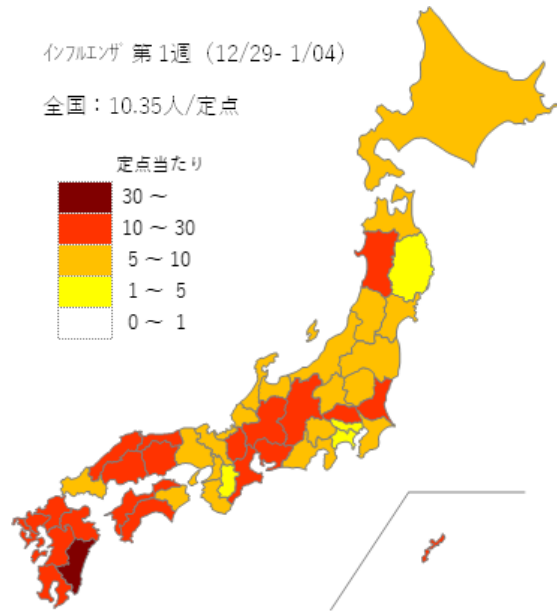


図5. インフルエンザ入院サーベイランス  
患者報告数の推移 (富山県)

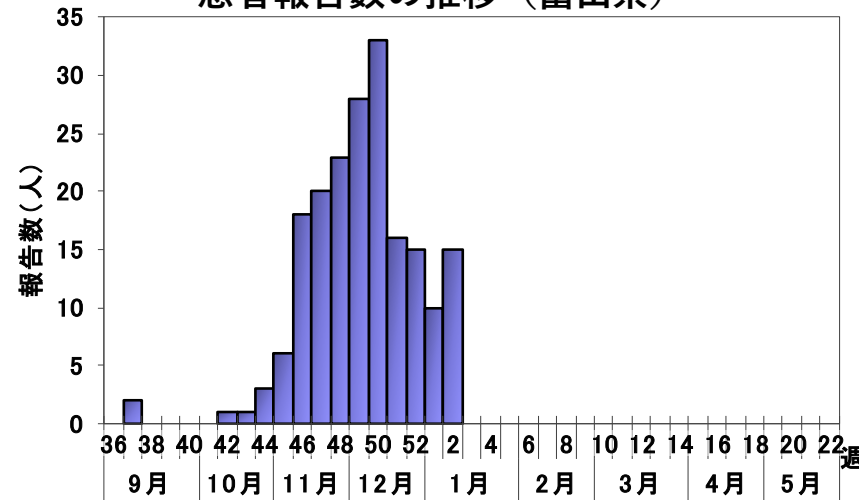
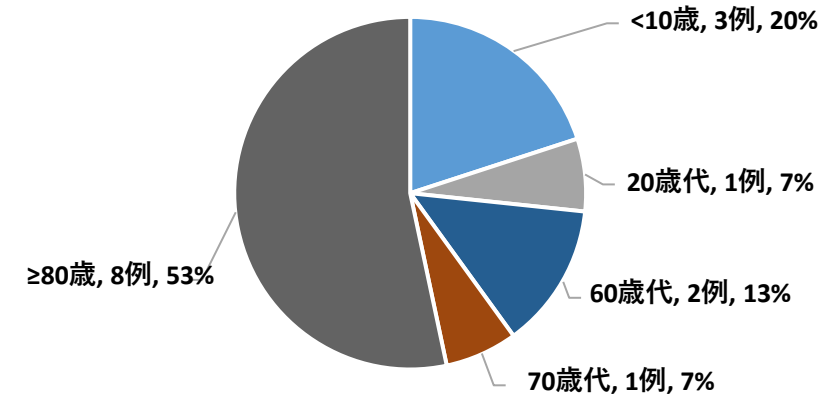


図6. インフルエンザ入院サーベイランス  
年代分布 (第2週、15例)



- 全国では第1週に10.35人/定点となり、2025年第52週 (22.77) から減少した。都道府県別では、1県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている (図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週15例の報告があり、先週 (10例) から増加した (図5)。
- 入院患者の年代は、10歳代3例、20歳代1例、60歳代2例、70歳代1例、80歳以上8例で、70歳以上が60%を占めた (図6)。
- 第2週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告がなかった。
- 県内の患者報告数は先週からやや増加した。型別検出割合は、A型80.7%、B型10.9%であり、B型の検出割合が増加傾向であった ([富山県感染症発生動向速報2026年第2週](#))。引き続き発生動向を注視する必要がある。